

平成27年度くまもとICTコンテスト結果発表

～ICTをフル活用！子どもたちのアイデアや発想が光る～

熊本県内の子どもたちのICT（情報通信技術）に対する興味・関心を引出し、ICTの活用能力を高めながら柔軟な想像力をはぐくみ、情報化による開かれた学校づくりを推進することを目的とし、「くまもとICTコンテスト」を開催しました。

今年度で14回目のコンテストとなり、県内の各学校から1,600点を超える応募をいただき、審査の結果、106点の優秀な作品が選ばれ、2月16日（火）にスペシャルゲストにくまモンを招き表彰式を行いました。その中から、特に優秀であった作品を今回紹介します。



ICT活用部門（作品部門最優秀賞）

①多良木町立多良木小学校 3学年の皆さん

タイトル『多良木町紹介ニュース～TSN～』



多良木町は雄大な自然に恵まれた、多くの史跡や文化財がある素敵な町です。その多良木町のよさを伝えるために、総合的な学習の時間で多良木町の史跡や観光名所に出向き、関係のある方々にインタビューしたり、VTRを作ったりして、出来た素材をつなぎ、約30分のニュース番組にしました。ニュースづくりを通して、自分達の住む町のよさを再発見することができました。このTSNをご覧になって、私たちが誇る「歴史とロマンの里」である多良木町に、是非一度来てほしいと思います。

②人吉市立第二中学校 パソコン部さん

タイトル『相良700年が生んだ保守と進取の文化』

私たちパソコン部は、毎年「人吉・球磨」をテーマに作品を作ってきました。その理由として、私たちの地元の方はもとより、国内や外国の方にも「こんなすばらしいものが人吉・球磨にあるんだ！」と知ってもらいたいと考えたからです。

今回は、昨年4月に人吉・球磨が「日本遺産」に登録されたことをきっかけに、夏休みなどを利用して部員で手分けをし、私たちが住む人吉市を中心に16件の文化財を取材し、調査してホームページ風にまとめました。外国の方にもわかるように、日本語に加え、主要言語の英語、フランス語、中国語、韓国語の5カ国語に翻訳しました。



本年度、念願の最優秀賞を受賞できたことは本当に光栄です。取材にご協力いただいた地域の皆様はこの場を通して感謝申し上げます。



③熊本県立芦北支援学校 高等部佐敷分教室 谷端さん タイトル『芦高祭佐敷分教室販売会ポスター』

芦北支援学校高等部佐敷分教室が設置されている芦北高等学校の文化祭で実施する販売会のポスターを制作しました。内容や構成を自分で考え使用する素材や写真を用意して制作しました。

今回初めて写真データの加工に取り組み、被写体の背景を消し拡張子を変更しました。また、写真撮影においても背景のセットを工夫するなど、試行錯誤しながら丁寧に作業を積み重ねることでポスターを完成させることができました。

ICT活用部門（学校活用部門最優秀賞）

熊本県立宇土高等学校

「海外研修をICT活用で効果的な取組にするためのアプローチ」

本校は、3年前からグローバルリーダー育成に力を入れ、多数の生徒を海外に派遣しています。交流校との連絡・調整に大変苦労していたのですが、今回、ICT活用度の高い韓国の益唐中央高校とテレビ会議システムを積極的に活用し、情報交換したところ、半年後には課題研究発表会への参加が実現し、現地の高校生と相互に英語で研究内容について意見交換することができました。帰国後もテレビ会議を通じた交流ができています。



NEXT夢コンテスト（NEXT大賞）

多良木町立黒肥地小学校4年 本田さん

「しえん風船」

地しんやつ波などのひ害が起きたとき、ひさい者の皆さんは、食べ物や服などに困ると思います。この風船は、中に、ひさいされた方達に必要なものが入っていて、目的地を書くと、そこまで飛んでいきます。目的地につくと、「パン」と音をたててわれるのではなくて、自然にとけていく、ふしぎな風船です。自然災害がないのが一番いいですが、もし、災害が起こったときには、この風船で助けたいです。



最後に

今回の提出された作品は、地域との協同作品やみんなが便利になる作品、実現できそうな気がする夢のアイデアなど、子どもたち一人ひとりが世界を変えていこうとする姿が見て取れる大変すばらしいコンテストでした。

来年度もこのように素晴らしい作品の作成を、皆さんの学校で是非取り組んで頂き、多数の応募をお待ちしております。

平成28年度の日程 応募要項発送 5月～ 募集 9月～11月 表彰式 2月